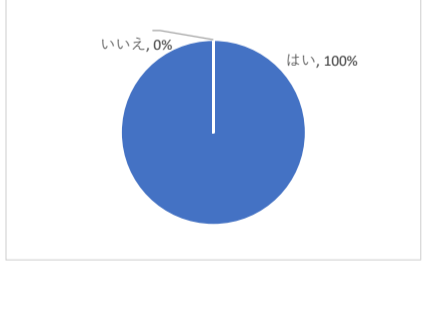
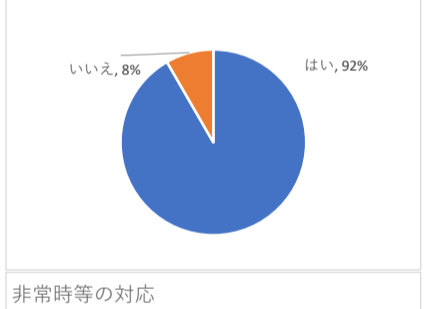
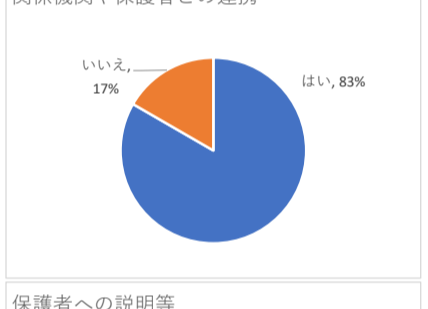
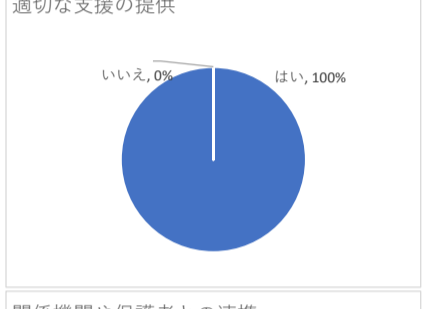
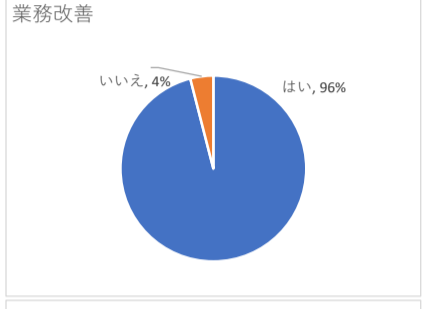
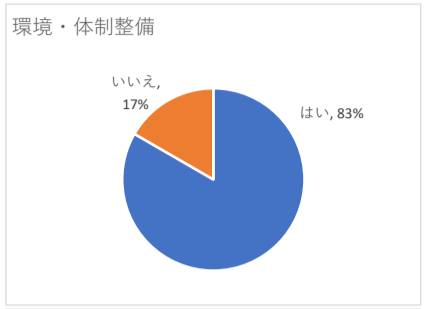


公表 事業所における自己評価結果

事業所名 福岡療育支援センターいちばん星志免 児童発達支援 志免きらら園 公表日 令和7年3月3日

Table with 5 columns: Check Item, Yes, No, Points for Improvement, and Issues/Points for Improvement. Rows are categorized into Environment/Preparation, Business Improvement, and Provision of Support.



|              |  |  |      |     |   |   |
|--------------|--|--|------|-----|---|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 26   | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 100% | 0%  |   |   |
|              | 27   | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。   | 100% | 0%  |   |   |
|              | 28   | (28～30は、センターのみ回答)  | -    | -   |   |   |
|              |  | 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。   | -    | -   |   |   |
|              | 29   | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。   | -    | -   |   |   |
|              | 30   | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。  | -    | -   |   |   |
|              | 31   | (31は、事業所のみ回答)  | 67%  | 33% |   |   |
|              |  | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。   | 67%  | 33% |   |   |
| 32           | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。                                  | 17%  | 83%  |     | ・交流できていない<br>・保育所等訪問として連携は取っているが、交流という名の機会はない |   |
| 33           | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。                             | 100%   | 0%   |     |   |   |
| 34           | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 83%  | 17%  |     |   |   |
| 保護者への説明等     | 35   | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。   | 83%  | 17% |   |   |
|              | 36   | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。                             | 100% | 0%  |   |   |
|              | 37   | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。   | 100% | 0%  |   |   |
|              | 38   | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。   | 100% | 0%  |   |   |
|              | 39   | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。                 | 100% | 0%  |   | ・年の行事の中で行われるよう、家族参加にしている<br>・会社全体では取り組んでいる<br>・各事業所では親子療育の機会がある |
|              | 40   | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。                               | 100% | 0%  |   |   |
|              | 41   | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。                                   | 100% | 0%  |   |   |
|              | 42   | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。  | 100% | 0%  |   |   |
|              | 43   | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。  | 100% | 0%  |   |   |
|              | 44   | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。  | 33%  | 67% |   | ・行事は行っているが、地域住民を招いてはいない   |
| 非常時等の対応      | 45   | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。                            | 100% | 0%  |   |   |
|              | 46   | 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。  | 100% | 0%  |   |   |
|              | 47   | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。  | 100% | 0%  |   |   |
|              | 48   | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。   | 100% | 0%  |   |   |
|              | 49   | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。   | 100% | 0%  |   |   |
|              | 50   | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。  | 100% | 0%  |   |   |
|              | 51   | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。  | 100% | 0%  |   | ・電子化して少し量が減ってきている   |
| 52           | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。   | 100%   | 0%   |     |   |   |
| 53           | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 100%   | 0%   |     |   |   |